

2024年3月期及び2025年3月期の業績説明



2024年4月25日



石塚硝子株式会社

ISHIZUKA GLASS Co., Ltd.

1. 2024年3月期決算内容

- 連結業績ハイライト
- セグメント別売上高、営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2025年3月期業績予想について

- 通期業績予想
- 連結業績推移
- セグメント別売上高

3. トピック

- 【お取り扱い店舗拡大】口臭ケア歯磨き粉『デオグラ オーラテック』
マツキヨココカラ&カンパニー店舗で販売拡大！合計 2,120 店舗
で販売中！

連結業績ハイライト

- ✓ 売上高は、ガラスびん事業は生産拠点である姫路工場の操業停止により減収となりましたが、各セグメントにおいて諸資材価格の高騰に対する価格改定の取り組みを進め、グループ全体の売上高は増収。
- ✓ 利益については、L N G 及び電力などのエネルギー価格は依然として高い水準にありますが、価格改定に加えて製造工程の合理化を通じたコスト低減施策の取り組みにより、各利益ともに大幅に増益。**長期ビジョン「ISHIZUKA GROUP 2030」の重点ポイントの一つである連結営業利益50億円を前倒しで達成。**
- ✓ 配当については、配当方針と業績状況を総合的に勘案して、**予想から10円増配の1株当たり60円**とさせていただくことを本日開催の取締役会で決定いたしました。

(単位：百万円)

項目	2022/3月期 実績	2023/3月期 実績	2024/3月期 実績	対前期比		対前々期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高 ※1	69,384	56,749	57,882	1,133	2.0%	▲11,501	—
営業利益	2,612	2,210	5,456	3,246	146.8%	2,843	108.8%
経常利益	2,791	2,317	5,362	3,045	131.4%	2,571	92.1%
当期純利益 ※2	2,254	252	4,707	4,455	1,766.6%	2,453	108.9%
配当金	45円	35円	60円	25円	—	15円	—

※1 前期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。これに伴い、売上高は当該会計基準等適用前と比較して大きく減少しているため、対前々期比増減率は記載しておりません。

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

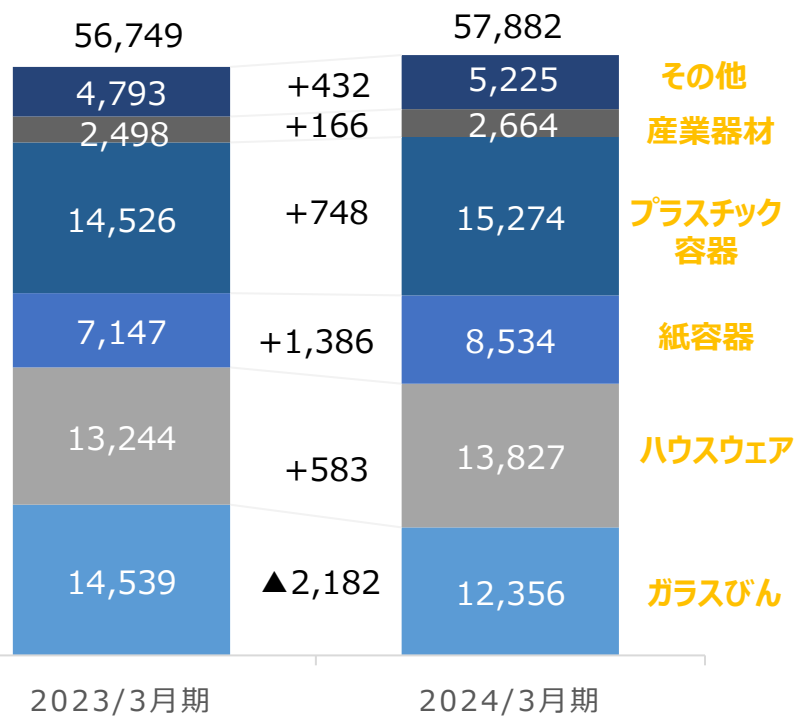
2

セグメント別売上高

売上高

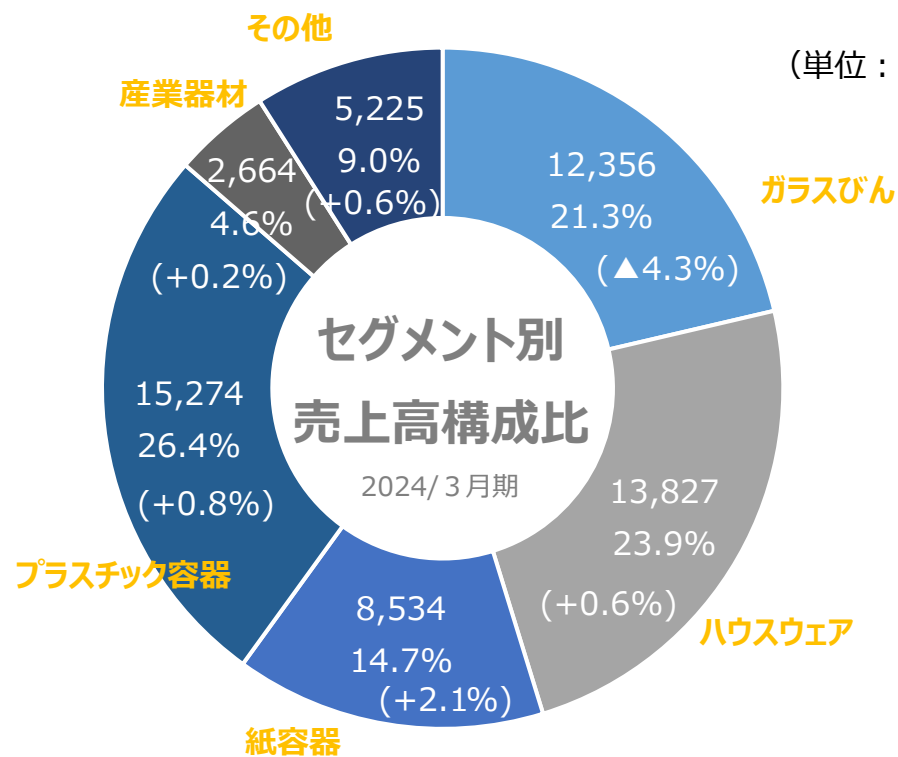
- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他

(単位：百万円)



- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他

(単位：百万円)

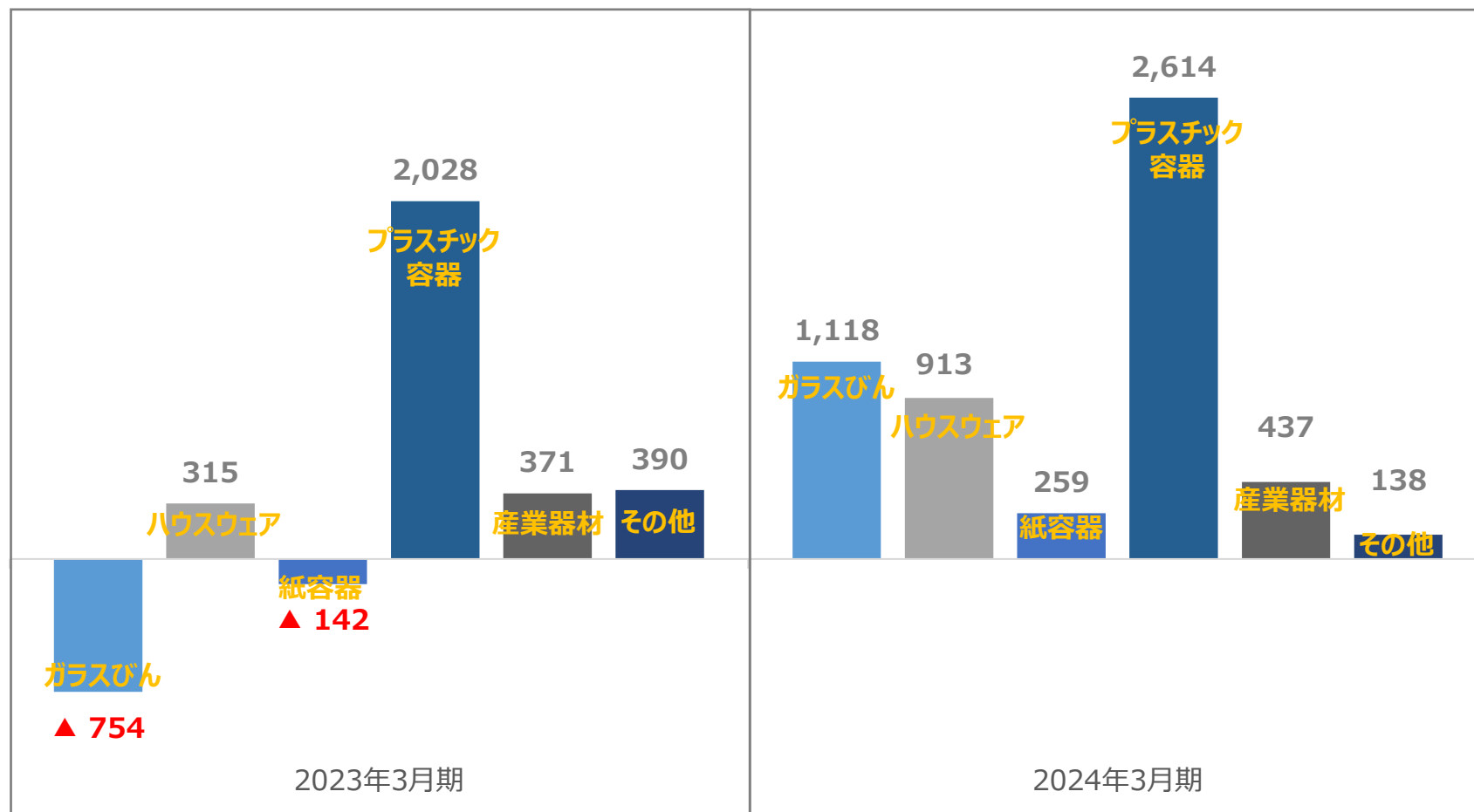


() 構成比率前期増減

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

■ ガラスびん関連 ■ ハウスウェア関連 ■ 紙容器関連 ■ プラスチック容器関連 ■ 産業器材関連 ■ その他



セグメント別売上高

ガラスびん関連事業

売上高12,356百万円（前期比15.0%減）

- ✓ 諸資材価格の高騰に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、前年度に操業を停止した姫路工場の影響により減収



ハウスウェア関連事業

売上高13,827百万円（前期比4.4%増）

- ✓ ガラス食器は、アルコールメーカー向けの業務用品の受注が増加しましたが、一般市場向けの販売が落ち込んだことや貯蔵びんの品目数を縮小したことなどにより全体として伸び悩み
- ✓ 陶磁器は、国内及び海外ともにホテル向けの受注を獲得



セグメント別売上高

紙容器関連事業

売上高8,534百万円（前期比19.4%増）

- ✓ 急激な円安進行等に伴い製品の主原料である原紙の調達コストが高騰していますが、それに対する販売価格是正の取り組みと紙容器用充填機の販売もあり増収



プラスチック容器関連事業

売上高15,274百万円（前期比5.2%増）

- ✓ P E Tボトル用プリフォームは、原燃料高騰に対する販売価格改定に加え主要ユーザーからの受注が堅調に推移し、過去最高の出荷本数を更新



セグメント別売上高

産業器材関連事業

売上高2,664百万円（前期比6.7%増）

- ✓ 原材料価格の高騰に伴う価格改定などにより増収



その他事業

売上高5,225百万円（前期比9.0%増）

- ✓ 抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響の収束、また世界的物価高騰の影響もあり海外市場での旺盛な需要は落ち着き、コロナ禍以前の出荷水準に戻る
- ✓ 金属キャップは、酒類及び医薬向けの出荷がともに伸張



連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表の主な変動要因

流動資産 44,447 (前期比+1,585) 受取手形及び売掛金+4,145、現金及び預金▲1,291、有価証券▲1,000	流動負債 24,903 (前期比+2,036) 支払手形及び買掛金+1,215、未払金+1,233
固定資産 47,538 (前期比+4,024) 有形固定資産+4,647	固定負債 34,861 (前期比▲58) 長期借入金+1,716、繰延税金負債▲917、退職給付に係る負債▲545
繰延資産 128 (前期比▲31)	純資産 32,350 (前期比+3,600) 利益剰余金+4,562
総資産合計 92,115 (前期比+5,578)	負債及び純資産合計 92,115 (前期比+5,578)

自己資本比率 33.6% (+4.6%)

～トピックス～

- ✓ 姫路工場に建設中のPETボトル用プリフォーム新工場の設備投資に係る有形固定資産が増加。
- ✓ 連結決算開始以降過去最高の親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が増加し自己資本比率は4.6ポイント増加の33.6%。

連結キャッシュ・フロー

項目	2023/3月期 実績	2024/3月期 実績	増減	(単位：百万円)
営業活動によるCF	2,087	5,704	3,616	
税金等調整前当期純利益	1,025	5,850	4,825	
減価償却費	3,254	3,073	▲180	
運転資本の増減額（▲は増加）※	266	▲3,074	▲3,341	
工場閉鎖関連損失の支払額	▲632	▲64	568	
法人税等の支払額	▲1,344	▲175	1,168	
その他	▲482	94	576	
投資活動によるCF	▲5,593	▲8,790	▲3,197	
有形固定資産の取得による支出	▲5,788	▲8,023	▲2,234	
その他	194	▲767	▲962	
財務活動によるCF	4,140	750	▲3,390	
短期借入の増減額（▲は減少）	▲5,270	▲1,496	3,773	
長期借入・社債の発行による収入	12,700	4,918	▲7,782	
長期借入の返済・社債の償還による支出	▲1,679	▲2,110	▲430	
セール・アンド・リースバック取引による収入	349	930	581	
リース債務の返済による支出	▲1,552	▲1,169	382	
その他	▲407	▲321	85	
現金及び現金同等物	6,069	3,778	▲2,291	

※ 売上債権の増減額、棚卸資産の増減額及び仕入債務の増減額の合計

～トピックス～

- ✓ 運転資本は増加したが、税金等調整前当期純利益の大幅な増加により営業活動によるCFも増加
- ✓ 前期から引き続き、姫路工場に建設中のPETボトル用プリフォーム新工場の設備投資による支出が発生し、有形固定資産の取得による支出が増加

説明内容

1. 2024年3月期決算内容

- 連結業績ハイライト
- セグメント別売上高、営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2025年3月期業績予想について

- 通期業績予想
- 連結業績推移
- セグメント別売上高

3. トピック

- 【お取り扱い店舗拡大】口臭ケア歯磨き粉『デオグラ オーラテック』
マツキヨココカラ&カンパニー店舗で販売拡大！合計 2,120 店舗
で販売中！

通期業績予想

- ✓ 売上高57,000百万円、営業利益2,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,700百万円を予想。
 - 2025年3月期は、プラスチック容器関連事業のPETボトル用プリフォーム新工場の立ち上げによる費用が先行して発生すること、ガラスびん関連事業の溶解炉定期更新を予定していることにより、2024年度中期経営計画「変化するスピードに負けない」の重点ポイントの一つ「連結営業利益3,500百万円」には届かない見込み。
 - 上記の**一時的影響を除いた場合には、連結営業利益3,500百万円を達成する見通し。**
- ✓ 配当については安定的な配当の継続と連結営業利益3,500百万円を継続的に達成できる企業体質に変革してきていることを踏まえ、**前期と同じ1株当たり60円を予想。**

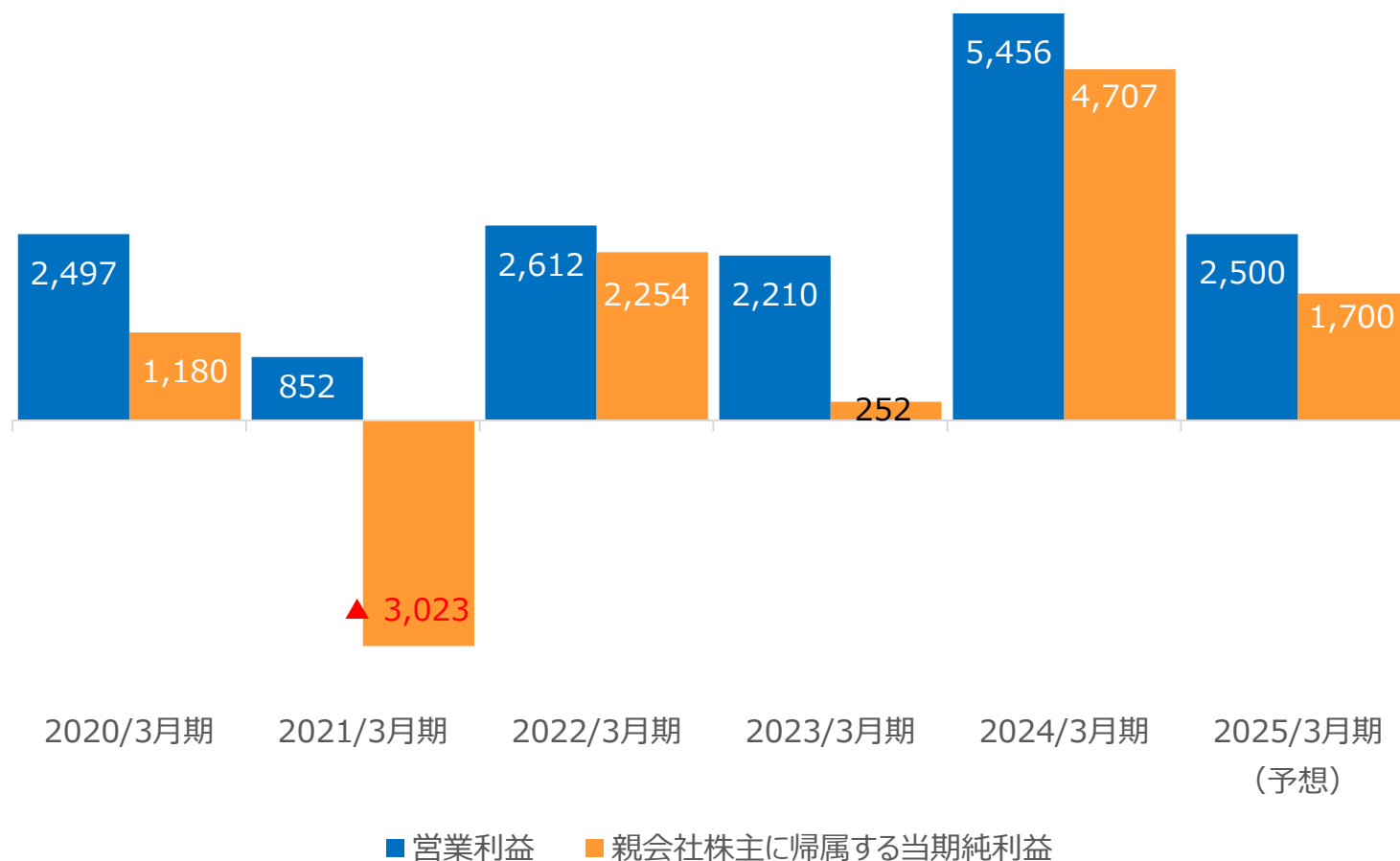
(単位：百万円)

項目	2023/3月期 実績	2024/3月期 実績	2025/3月期 業績予想	対前期比		対前々期比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	56,749	57,882	57,000	▲882	▲1.5%	250	0.4%
営業利益	2,210	5,456	2,500	▲2,956	▲54.2%	289	13.1%
経常利益	2,317	5,362	2,100	▲3,262	▲60.8%	▲217	▲9.4%
当期純利益 ※	252	4,707	1,700	▲3,007	▲63.9%	1,447	574.0%
配当金	35円	60円	60円	—	—	25円	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

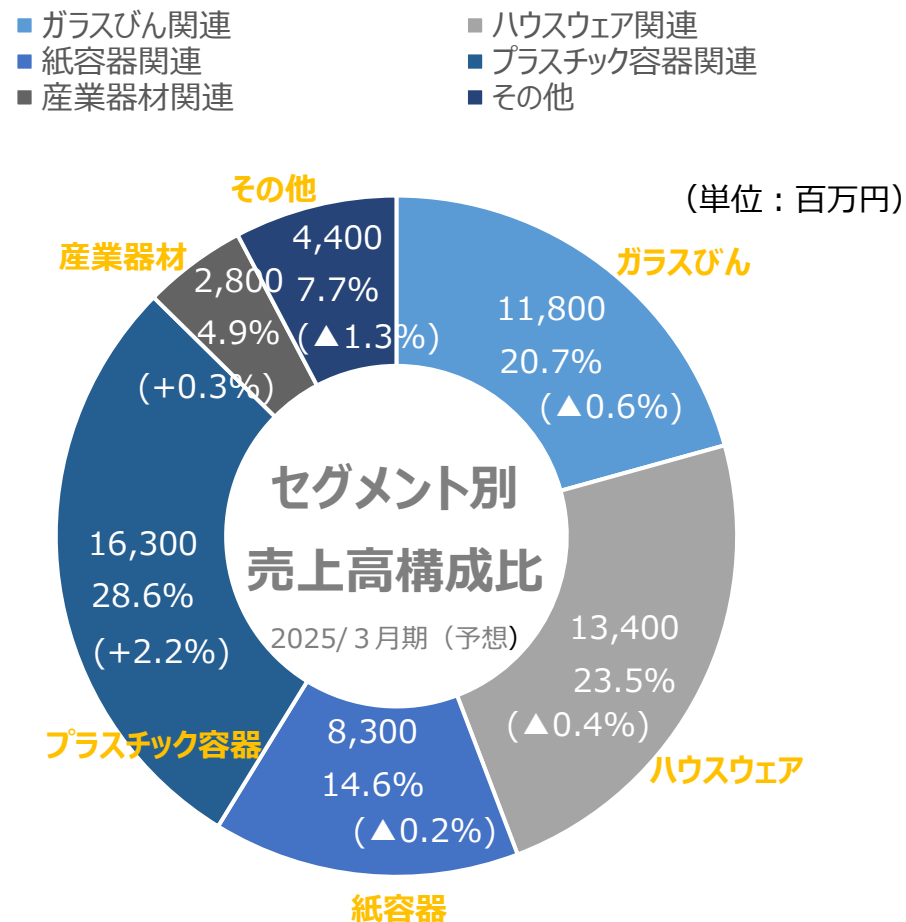
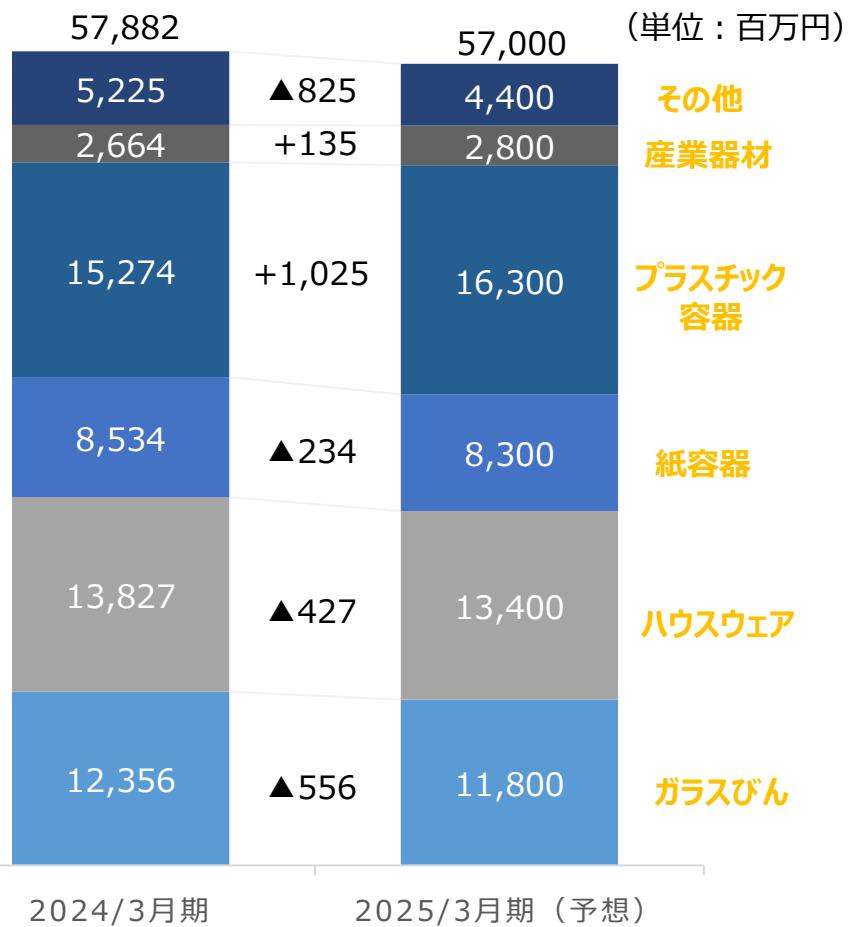
営業利益及び 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



セグメント別売上高

- ガラスびん関連
- 紙容器関連
- 産業器材関連
- ハウスウェア関連
- プラスチック容器関連
- その他



() 構成比率前期増減

説明内容

1. 2024年3月期決算内容

- 連結業績ハイライト
- セグメント別売上高、営業利益
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー

2. 2025年3月期業績予想について

- 通期業績予想
- 連結業績推移
- セグメント別売上高

3. トピック

- **【お取り扱い店舗拡大】口臭ケア歯磨き粉『デオグラ オーラテック』
マツキヨココカラ&カンパニー店舗で販売拡大！合計 2,120 店舗
で販売中！**

■ 【お取り扱い店舗拡大】口臭ケア歯磨き粉『デオグラ オーラテック』マツキヨココカラ & カンパニー店舗で販売拡大！合計 2,120店舗で販売中！

－ 店頭販売、順次拡大中 －

石塚硝子株式会社（本社：愛知県岩倉市、代表取締役 社長執行役員：石塚久継）は、口臭ケア歯磨き粉『デオグラオーラテック』の店頭販売を順次拡大中。全国でマツモトキヨシやココカラファイン等を展開するマツキヨココカラ & カンパニーグループで、既にお取り扱い頂いている1,120店舗に加え、4月より新たに1,000店舗での販売も始まります。これにより、マツキヨココカラ & カンパニーグループ2,120店舗での販売展開へ拡大します。詳細な販売店舗は、ホームページをご覧ください。



- お取り扱い店舗一覧は、ホームページ掲載（以下リンク）の通り。
<https://x.gd/BoUxi>

商品概要

販売名：デオグラデンタルペースト

容量：100 g

香味：パールミント

製品の特長：日常的に人が不快に感じる口臭の原因のひとつが、揮発性の臭い物質（メチルメルカプタンなど）の発生です。デオグラオーラテックでブラッシングすることで、原因*を除去。口臭を防いでスッキリした爽やかさが長く続きます。

（*食ベカスや歯垢など）

ブランドサイト URL：<https://deogla.com/>

ランディングページ URL：<https://www.deogla-lp.com/>

Instagram：@deogla.oratech_official

LINE：@deogla

本資料についての留意事項

- 本資料は金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。